

トーク&弾き語りライブ

僕らの言葉で語り合おう

大切な人たちのことだから

ゲスト

李国本修慈さん×五十嵐正人



僕らにとって大切な人たちのことを、たくさん話したいと思っています。

その僕らにとって大切な人たちというのは、障害者と呼ばれている人たちだったりします。

僕は気をつけていないと、彼らのことを、特別な言語で話してしまいがちです。

たとえば困った時に相談することを「相談支援」って呼んでみたり、俺ん家のことを「グループホーム」って言ってみたり。これらは、僕らが普通の、日常的な暮らしの中では使わない、特別な福祉言語です。

僕は、自分にとって大切な人たちを、この特別な言語だけで語りたくはありません。その言語の世界に閉じ込めたくはないのです。特別な福祉言語は、困った時にだけ使えばいい。

そこで、俺ん家のことを「我が家」と呼ぶ、当たり前の言葉を母語として、大切な人たちのことを語り合う。そんなトーク&ライブを企画しました。

ゲストは、兵庫県伊丹市で重症心身障害といわれる方々と、自らの思う普通の暮らしを実践している李国本修慈さん(写真右)。

そして、トークが、特別な福祉言語に流れてしまわないように、フォークソングなどの弾き語りのライブを組み合わせました。そのシンプルな歌詞には、「相談支援」も「グループホーム」も出てきません。相談は相談であり、家は家であり、愛は愛です。

そんな、僕らの当たり前の言葉で、大切な人たちのことを語り合い、弾き語る夕べです。

◎日時：2014年7月13日(日)18:30~20:20

◎場所：さわやかちば県民プラザ 多目的室(千葉県柏市柏の葉4丁目3番1号)

◎参加費：無料

◎主催：ばおぼぶ

◎問合せ及び申込先：ばおぼぶ(電話・FAX)04-7169-7710

(Eメール)baobab-i@jcom.home.ne.jp

※参加申込は上記まで、お名前・参加人数・連絡先をお知らせください。定員(50名)になり次第、締め切ります。